

## 第1章 調査概要

### 1. 調査目的

本調査の目的は、家庭から排出される家庭系ごみ（可燃、その他の紙、雑がみ）、事業所などから排出される事業系ごみについて組成割合を調査し、ごみの排出状況を把握するとともに、更なるごみの減量化・資源化推進のための基礎資料とすることである。

### 2. 調査実施内容

#### ① 家庭系可燃ごみ

- 【実施日】 平成30年12月25日（火）
- 【調査場所】 弘前地区環境整備センター（弘前市大字町田字筒井6-2）
- 【季節】 春・夏・秋・**冬**
- 【試料採取地域】 寒沢町会（二大地区）
- 【集積所の形態】 ステーション方式（町会等）、**ステーション方式（集合住宅）**、毎戸方式
- 【備考】 ポリバケツ、**集積ボックス**、防鳥ネット、三方コンクリート
- 【可燃収集曜日】 火曜・金曜
- 【想定条件】 学生居住地域
- 【採取量】 200.2kg（集積所7か所分）
- 【気温（平均）】 1.6℃
- 【収集時間】 20分

### 3. 調査手順

#### （1）試料の回収

##### ① 家庭系可燃ごみ

調査対象の集積所から市職員がごみを回収し、指定の場所に搬入する。

##### ② 家庭系ごみ厨芥類（生ごみ）の未使用（食品ロス）

①で調査した厨芥類（生ごみ）の未使用（食品ロス）を回収し、指定の場所に搬入する。

#### （2）分類及び重量の記録

搬入された試料の分類を行い、組成区分ごとに重量を計量し、記録する。